

無散水消雪施設を整備しています。

無散水消雪施設とは

道路の中に放熱管を埋め、この放熱管の中に地下水を送って、地下水の持つ熱を効率よく路面に伝えることにより、雪を融かし路面の凍結を防ぐ消雪方法です。

無散水消雪の特徴

- ・路面に散水がないので、降雪時の通行・歩行が快適になります。
- ・舗装面の傷みが少なくなります。

【全体計画】(下の区)

電線共同溝 L=600m※
無散水消雪工(歩車道) L=600m※

【H28工事概要】

無散水消雪工(歩車道) L=400m※

※歩道(両側)と車道を合わせた施工延長です。

【現場状況】

- ・車道側の無散水施設の施工が完了しました。
- ・11月より歩道部の無散水工の作業を行っていますので、通行の際は、ご協力をお願いいたします。



完成予定日
平成29年3月下旬



車道側の無散水工事完了



至 国道118号

※11月4日の状況写真です。

歩道側施工状況



汲み上げた地下水が管内(赤線部)を流れることで、路面に熱が伝わり雪が溶けます。



※この事業に関するお問い合わせ先
会津若松建設事務所 道路課 TEL)0242-29-5440